

いつも応援ありがとうございます！ エコチル調査メールマガジン第38号をお届けします。

〈目次〉

1. おしえて、エコチル先生！
2. ユニットセンター奮闘記
3. エコチル調査からのお知らせ

★ 1. おしえて、エコチル先生！ ★

エコチル調査の集計結果を紹介する、「おしえて、エコチル先生！」。今回は、「妊婦の喫煙と子どもの出生体重について」です。山梨大学大学院の鈴木孝太先生が解説してくださいました。山梨大学にはエコチル調査甲信ユニットセンター（エコチルやまなし）が置かれており、先生はエコチルママさんたちが楽しく調査を続けていけるようにサポートしています。

鈴木先生は、エコチル調査参加者約1万人の妊婦さんのデータをもとに、妊婦の喫煙と子どもの出生体重についての研究結果を発表されました。タバコを吸ったことのないお母さんから生まれた子どもに比べて、妊娠中もタバコを吸っていたお母さんから生まれた子どもの出生体重は少ない傾向にあることがわかりました。

☆ ☆ ☆

…妊娠中の喫煙がお腹にいる赤ちゃんの発育に影響することを示している研究は、世界のさまざまな場所でたくさん行われていますが、今回のように、国を代表するデータを使って詳細に検討したものはほとんどありません。エコチル調査だからこそ、このように世界でも貴重な研究結果が得られたと考えています。…

☆☆ 鈴木先生の「おしえて、エコチル先生！」は近日公開予定です。
以下に掲載されますので、ご期待ください！ ☆☆
<http://www.env.go.jp/chemi/ceh/maimagaazine/column.html>

★ 2. ユニットセンター奮闘記 ★

エコチル調査では、10万組の親子に全国15地域で調査に参加していただいております。各地域のユニットセンター(UC)が13年以上に渡る長い参加継続を支えています。このコーナーでは、各ユニットセンターの特色や取り組みをご紹介します。

◎福岡ユニットセンター 産業医科大学サブユニットセンター
九州の玄関口、最北端・北九州市の八幡西区を対象地域とし、3,000名のお母さんに参加登録頂いています。日々忙しい中ご協力頂いている参加者さんへの感謝の気持ちを込めて、また、長い調査を楽しく続けて頂くことを目的に、定期的なイベントの開催や情報誌の作成などコミュニケーション活動に力をいれています。これからもスタッフ一同、「エコチル調査に参加してよかった」と思ってもらえるようなフォローアップを目指します。

◎福岡ユニットセンター 九州大学サブユニットセンター
政令指定都市の中で人口が5位に浮上した福岡市の東区、糟屋郡の一部で4,691名のお母さんに参加いただいております、総勢27名のスタッフで運営して

